

市民経済委員会

協議会 資料

市民経済委員会 協議会資料

株式会社 流山ツーリズムデザイン

2026年7月



nagareyama
TOURISM
DESIGN Co., Ltd.

次第

報 告 事 項

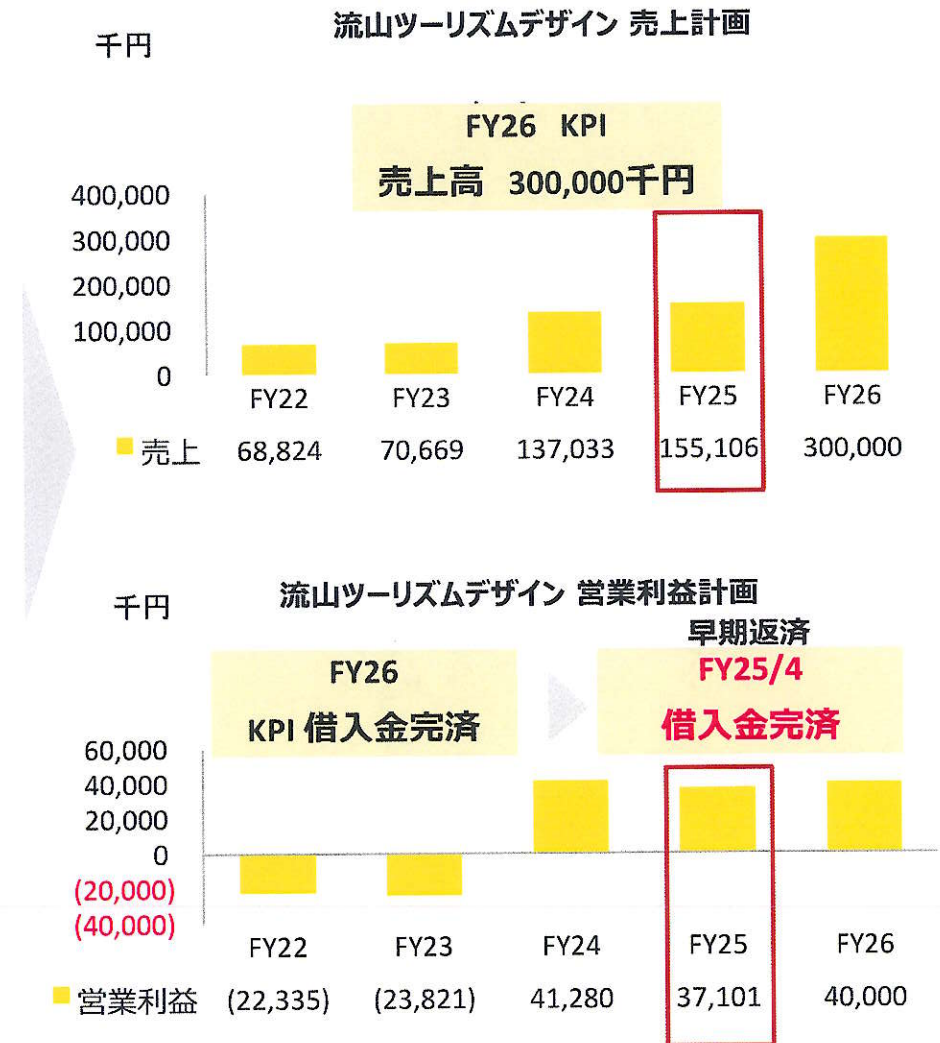
- 令和 7 年度事業
- 第 6 期経営成績
- 令和 8 年度事業の方向性
- 経営体制について



令和 7 年度事業報告

指定管理事業による収益を確保しながら、観光地域としてのインフラを整え、発酵・醸造をテーマに人を呼び込む持続可能な観光地域づくりの仕組みづくりを行いました

経営戦略	
✓ 新規事業展開による収益の拡大 ・万博による流山白みりんのPR ✓ 国の補助金等を活用した観光地域づくり ① 歴史的資源を活用した観光地域づくり ② 共創MaaS（実証運行事業） ✓ ちば発酵観光圏の設立と裾野拡大 ・野田市、佐倉市、神崎町への拡大 ・下総発酵醸造観光圏の組織設立 ✓ 旅行商品の造成による観光客の呼び込み ・第三種旅行業登録 ・研修旅行等の受注型旅行商品の企画と造成	実施 採択 採択 実施 継続 継続 実施



個別ブースにおける流山白味淋の提供、発酵講座、発酵三国バトルなどのイベントを通して、白みりんの魅力発信のほか、人的な発酵ネットワークの強化することができた

目的

- ・ 白みりん発祥の地というプロモーションによる認知拡大を行う
- ・ 白みりんミュージアムへの来場者増加を狙い、世界中からくる来訪者に向けて、白みりんの魅力を発信する

流山白味淋の試飲

プリクラ付き味淋の量り売り

- ・ 流山白味淋は300本を完売
- ・ 味淋の量り売りは600本を販売
- ・ 白みりんの試飲を提供することにより、新しい白みりんの魅力を発信した



- ・ 味淋の試飲経験がない人が9割以上
- ・ 味淋の魅力を伝えるためには、“試飲”が効果的

もこもこ発酵講座withチーバくん

こぼれ梅のきなこ棒

- ・ こぼれ梅のきなこ棒づくりを体験メニューとして提供
- ・ こぼれ梅の使い方を発信した



- ・ アップサイクルに対する興味関心の高さを再認識
- ・ チーバくんを使うと盛り上がりが増加速

発酵三国バトル 大阪夏の陣

みりん粕de ビーガンドック

- ・ 結果：流山優勝！
- Day1流山、Day2香取、Day3流山
- Day4引き分け



- ・ 令和7年11月神崎町で開催されたafter万博に参加
- ・ 神崎町、香取市、ヤマサ、キッコーマンとの人的つながりが強化
- ・ 万博優勝商品として販売を計画

電動アシストサイクルの導入

流山本町・利根運河を走るアクティビティとして、国土交通省の補助事業を活用し、シェアサイクルの導入を10月15日より開始（4月末でポートの見直し等のため一時休止）

本町・利根運河を起点に駅を結ぶ効率的なポート展開を構想

● 重点エリア

- 江戸川・利根運河沿いの河川敷を疾走するアクティビティ利用を主なシーンとして展開
- 白みりんミュージアムを代表とする流山本町への観光客の回遊性向上にも寄与

● ポートと結節点の考え方

- 利用エリアの流山本町と利根運河はTX路線からのアクセスが悪く、結節点として重点エリア以外にTX路線駅周辺にもポート設置が必要



発酵県ちば観光圏に向けた取組

流山を中心とした白みりんの歴史的資源と、野田・銚子などの醤油醸造文化を結びつけることで、千葉県全体を一つの発酵文化圏として体験できる観光ルートを構築した。

目的 ・ 「発酵県ちば」の面的な連携を活用して、白みりの魅力を日本全国、世界に広める

みりんとしょうゆを巡る旅

- ・ キックマンもの知りしょうゆ館と白みりんミュージアムを巡る旅行商品の造成
- ・ 白みりんの期限を流山で学び、醤油の製造工程を野田で見学。



- ・ みりんとしょうゆを巡る旅を造成。
自治体の視察、団体旅行の受入れ
- ・ 11/19 大多喜町の団体（19名）が利用

こうざき酒蔵まつり出店

- ・ 発酵の里こうざき 酒蔵まつり2026（令和8年3月15日開催）に出店し、白みりんの魅力をPR。



- ・ みりん粕を炙りチャーシューに見立てた白みりん味噌ラーメンを420杯販売。

白みりんミュージアム 1周年記念
テリヤキフェスティバル

- ・ 令和8年3月29日開催。テリヤキをテーマにテナントが出店し、白みりんミュージアムの盛り上げを図った。



- ・ 8店舗が出店。
- ・ 銚子の水産業者もテリヤキをテーマに出店するなど取組が広域化。

第 6 期経営成績の報告

売上高、営業利益ともに目標を達成し、財政状況を表す貸借対照表においても繰越損失を解消し財務が健全化した。

単位：千円

	2021/4- 2022/3	2022/4- 2023/3	2023/4- 2024/3	2024/4- 2025/3	目標 2024/4- 2026/3	実績 2025/4- 2026/3
売上高	58,730	68,824	70,669	137,033	150,000	155,106
売上原価	2,913	8,231	11,565	6,043	-	12,348
売上高総利益	55,816	60,593	59,104	130,990	-	142,758
販管費	62,831	82,401	81,743	89,709	-	105,656
営業利益	▲7,014	▲21,808	▲22,639	41,280	30,000	37,101
当期利益	▲8,956	▲22,334	▲23,821	38,951	-	32,708
借入金残高	0	43,621	61,770	40,010	0	0

令和 8 年度事業の方向性

観光地域づくり法人として地域への再投資や、地域人材の育成に注力する

経営戦略

✓インバウンド、団体旅行客の呼び込み

・大手旅行会社等による積極的な営業活動

・千葉県と連携した台湾旅行客の訪日プロモーション

✓国の補助金等を活用した観光地域づくり

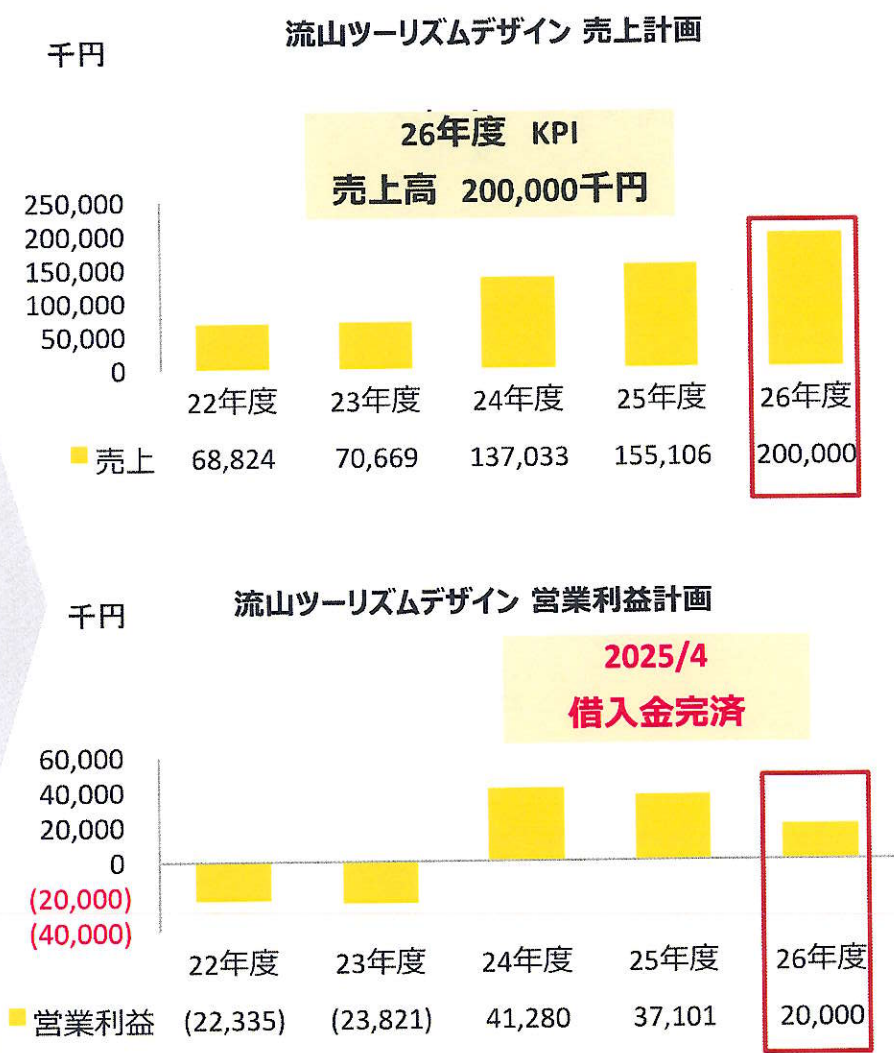
・観光コンテンツの再整備に向けた取組
(流山本町ひな巡り、切り絵行灯)

・白みりん発祥のまちのブランド確立に向けた取組
(情報発信、白みりんコンテンツの充実)

✓発酵県ちばとの連携

・“発酵県ちば”のイベント開催

・ちば地域産業創出プロジェクト（発酵産業創出）





経営体制について

新体制では、2名取締役が就任し、1名の監査役

現体制	
業務執行取締役	吉河 智彦
非業務執行取締役	志賀 進一 海老原 新藏 加嶋 雄一郎 浅田 健嗣 (辞任) 石原 文人 (辞任) 小園 直史
監査役	亀山 隆弘 (辞任)



新体制	
業務執行取締役	吉河 智彦 川浦 智子 (新任)
非業務執行取締役	志賀 進一 海老原 新藏 加嶋 雄一郎 小園 直史 北原 幸治 (新任)
監査役	石原 文人 (新任)

問合せ先

株式会社流山ツーリズムデザイン

〒270-0164

千葉県流山市流山2-101-1

■ 代表取締役 CEO

吉河 智彦

中小企業診断士 国内旅行業取扱管理者

電話: 090-4181-9812

メールアドレス: Tomohiko.Yoshikawa@nagareyama-td.com